

令和8年度



校訓： 伸びよ 鍛えよ 心とからだ

教育目標

自ら学び、自ら考え、豊かな心でたくましく生きる金津っ子の育成
～ みんなで創る 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 ～

- 〇めざす児童像
- ・努力する子
 - ・思いやりのある子
 - ・心も体も元気な子

- 〇めざす学校像
- ・一人一人が個性を活かし生き生きと学びを楽しむ学校
 - ・あいさつ、思いやりにあふれる学校
 - ・地域に開かれ信頼される学校

重点目標

☆確かな学力	☆豊かな心	☆健やかな体	☆信頼される学校
<p>〇未来をたくましく生きぬく力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学び ・対話的な学び ・深い学び ・情報活用能力 <p>〇基礎・基本の習得</p> <p>〇読書活動の推進</p> <p>〇学びを楽しむ力</p>	<p>〇規律と思いやりのある温かい集団作り</p> <p>〇自他の人権を大切にする児童の育成</p> <p>〇個性をいかし、夢に向かって挑戦するしなやかな心づくり</p> <p>〇あいさつが通いあう学校</p>	<p>〇金津っ子体力パワーアップ</p> <p>〇食育・保健指導の推進</p> <p>〇安全・安心の確保。自己管理能力や安全意識を育て、自他の命を大切にする児童の育成</p>	<p>〇家庭や地域との連携と協働</p> <p>〇教育活動の積極的な発信</p> <p>〇ふるさと学習の推進。地域に対する課題意識を高め、地域の方々と共にふるさと学習やキャリア教育を推進する。</p>
《具体的な取組》	《具体的な取組》	《具体的な取組》	《具体的な取組》
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と考えを深める時間、問題解決の時間を大切にし、探究力を育む。 ・学校での教科や体験活動の学びと実生活との効果的なつながりを重視。 ・ICTの効果的な活用。 ・個に応じた学力を伸ばす。 ・「言葉の力」「表現力」を伸ばす。（読解力・コミュニケーション力） ・読書時間を確保する。（朝読書、図書室の活用や読み聞かせ、金津図書館との連携） ・学習習慣を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業や特別活動を充実させ、話し合いや体験活動の中で自分や友達のよさや個性に気づき認め合う集団を育てる。 ・家庭や外部機関と密に連携をとり、日々細やかな教育相談や情報共有を行い、いじめや不登校の未然防止・早期発見や、児童保護者に寄り添った支援を行う。 ・「ポジティブ教育」を通して、社会性を育て仲間同士を認め合い、支え合う集団づくりを行う。 ・SOSを出す教育をスクールカウンセラーと連携して、全学年で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に親しみ、目標をもって体育の授業や持久走、なわとびに取り組むよう手立てを工夫する。 ・日々の保健安全指導や防災・防犯訓練などを通して危険予知能力・危険回避力を高める。 ・栄養教諭による全クラスへの食育指導。食への関心の向上をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開やHP、H&S(アプリによる保護者への通知)、各種お便り、連絡帳等を通して家庭と情報を共有し、子どもの成長を共に支える。 ・情報モラル等、子ども達を取り巻く課題について研修や情報発信を積極的に行い、家庭の協力を求める。 ・地域での体験学習を充実させ、ふるさと理解を深める。児童が学びを通して実感した魅力を、ICT等を活用し積極的に発信する。 ・学校応援ボランティアを募り、地域の教育資源を積極的に活用する。

《数値目標》	《数値目標》	《数値目標》	《数値目標》
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業が分かる」と感じている児童・保護者90%以上 ・学校で「本を読む時間が確保されている」と答える児童80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと答える児童90%以上 ・みんなに対して優しい言動をしていると答える児童90%以上 ・先生と話をする機会が十分であると答える児童80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や業間マラソン、なわとびなど運動に頑張って取り組む児童90%以上 ・安全に気をつけて行動している児童95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が教育活動の様子をよく発信していると感じている保護者90%以上 ・地域の伝統や文化に興味をもつことができたと思える児童80%以上

- ◆業務改善のための取組
- ・DXを推進し、ICTや校務支援システムを活用する。…効果的な活用の仕方を追求
 - ・校務分掌を複数人体制とし、業務をみんなで分担する。…タッグ、チームで行う
 - ・これまでの価値観や常識からの脱却を目指し、削減や精選に拠らない見直しを図る。…「手をかけすぎない指導」「教科担任制」の推進